

奥西勝死刑囚 病死

名張毒ぶどう酒事件

89歳、冤罪訴え再審請求中

三重県名張市で一九六一（昭和三十六）

年、女性五人が毒殺された名張毒ぶどう酒事件で、殺人罪などで死刑が確定したものの、冤罪を訴えて第九次再審請求中だった奥西勝死刑囚が四日正午すぎ、収容先の八王子医療刑務所（東京都）で死亡した。八十九歳だった。奥西死刑囚は二〇一二年六月、肺炎が悪化し、名古屋拘置所から移送。呼吸困難で一



奥西勝死刑囚

時は危篤となり、回復後も寝たきりの状態だった。今年八月にも高熱から危篤状態となり、最近は意識のない状態が続いていた。